

令和5年度 子ども大学SAITAMA


1. 実施体制

子ども大学SAITAMA	学長	設置なし
	副学長	設置なし
子ども大学SAITAMA 実行委員会	実行委員長	熊谷幸典
	実行委員 (関係団体)	実行委員： 協賛・協力団体：


2. 事業内容

開催回数	12回	開催期間	令和5年7月2日～令和5年12月16日			
参加者数	80名	内訳	小学4年生	29名		
			小学5年生	32名		
			小学6年生	19名		


3. 実施内容

1 日目	開催日時	7月2日（日） 13:00-16:00	
	会場	氷川神社	
ふるさと学	講義名	氷川神社のなぞ？と ホタルのひみつ	<p>今年度は入学式を氷川神社で実施しました。80名の生徒は初対面の子ばかりでしたが、子ども実行委員が考えたゲームを通じて一気に仲良くなりました。</p> <p>そのあと、氷川神社でのフィールドワークや見学を通じ、氷川神社の歴史を学びました。</p> <p>さらに、氷川神社で取り組んでいるホタルの自生復活へ向けた活動についてもお話を伺ったり、ホタルの餌となるカワニナを実際に見せていただきました。</p>
	講師	武蔵一宮 氷川神社 遠藤胤也先生	


3. 実施内容

2 日目	開催日時	7月16日（日） 10:00-12:00	
	会場	埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	
は て な 学	講義名	プロの器具を使って お菓子を作ってみよう！	<p>プロのパティシエの先生に教わりながら、ガレット・ロムとマジパンを作りました。</p> <p>素材の特徴やプロの器具の使い方を教わりながら、プロとしてお菓子を提供することの大変さや楽しさを学びました。</p>
	講師	山本正隆シェフ	


3. 実施内容

3 日目	開催日時	8月5日 (土)	
		09:30-11:30	
は て な 学	会場	人間総合科学大学 岩槻キャンパス	<p>赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどのように成長するのかを学び、生まれた赤ちゃんをどのようにお世話するのかを体験しました。実際の赤ちゃんの体重に近い人形を使って、おむつを替えたり、ミルクをあげたりしました。</p> <p>人形での体験でしたが、みんな、本当の赤ちゃんを扱うように緊張しながら体験していました。この体験が将来きつと役に立つと思います。</p>
	講義名	赤ちゃんの成長を知り お世話を体験してみよう！	
	講師	渋谷郁恵 先生 牧野由加里 先生 田中弘子 先生	


3. 実施内容

4 日目	開催日時	8月9日（水） 13:00-16:00	
	会場	ホンダテクニカルカレッジ	
は て な 学	講義名	ホンダの学校い潜入！ 聞いて見て触って 知らない車の世界を覗いてみよう	<p>ユニカブという未来の動く椅子に乗ったり、タイヤ交換などの自動車整備の体験をしたり、マフラーの役割をマフラーを外した車のエンジン音を聞いて身をもって知ったり、盛りだくさんの講座でした。</p> <p>最後には、車の未来について、何を大事しないといけないかについてもお話をいただきました。</p> <p>受講した子ども達の中から、未来の自動車を担う人材が生まれるかもしれません。</p>
	講師	ホンダテクニカルカレッジ関東 玉田真人先生	


3. 実施内容

5 日目	開催日時	9月10日（日） 13:00-16:00	
	会場	さいたま会館	
ふるさと学	講義名	J:COMの テレビ番組収録に潜入しよう！	<p>「埼玉の逆襲」という番組の収録に、子ども達が出演者として収録に参加しました。</p> <p>番組を作るのに、タレントさんだけでなく、たくさんのスタッフの方々の力が必要であることを体感しました。</p> <p>また、番組の中で、「さいたまの良いところ」をみんなで話し合うことで、子ども達の「埼玉愛」が深まったことは間違いありません。</p> <p>また、グループで番組企画を作って、その中の一つが、後日、本当に番組になりました！</p>
	講師	ジェイコム埼玉・東日本 取締役・番組エグゼクティブプロデューサー 中山紀子先生	

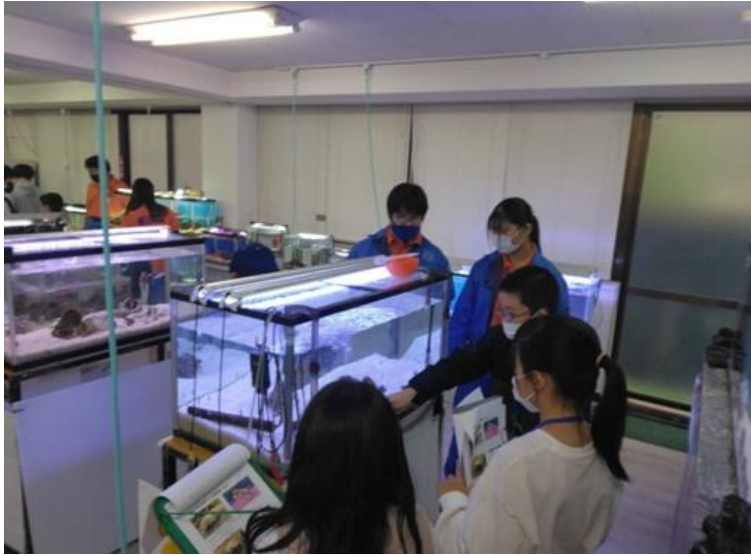
3. 実施内容

6 日目	開催日時	10月8日（日）	
		10:00-12:00	
会場	埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校		
講義名	手話で唄おう		
生き方学	講師	高須一美先生 (手話通訳士)	<p>手話で、みんなの知っている歌を唄いました。 これまで、手話のことを良く知らなかった子ども達も楽しく手話に接することができました。 手話で1曲の歌を唄うことで、耳の不自由な方へ少し寄り添うことができ、子ども達は、今後、より多くの人とコミュニケーションをできるようになったと思います。</p>


3. 実施内容

7 日目	開催日時	10月29日（日） 09:30-11:30	
	会場	レイブックホール	
	講義名	話すことが好きになる コミュニケーション講座	
	講師	小澤由実フリーアナウンサー (元NHKキャスター)	
生き方学			<p>人前で話すことが苦手な子が多かったですが、講座を進めながら、話すときの姿勢も、声も、表情も変わってきました。今日の講座を体験して、少しは、人前で話すことが好きになったのではないかと思います。</p>


3. 実施内容

8 日目	開催日時	10月15日（日）	
	会場	埼玉動物海洋専門学校	
	講義名	さまざまな動物に実際に 見て ふれて 感じて 学んでみよう！	
は て な 学	講師	埼玉動物海洋専門学校 副校長 井守和寿先生	<p>魚の体の構造を注意深く観察したり、実際の飼育の現場を見学したりして、哺乳類から爬虫類、魚類まで、さまざまな動物のお世話の仕方について学びました。</p> <p>また、「プロジェクトワールド」というゲームを通じて、少数の外来種がいとも簡単に、増えていくことを実感し、生態系の保護への気づきもあったと思います。</p>


3. 実施内容

9 日目	開催日時	11月19日（日） 09:00-17:00（4回開催）	
	会場	埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校	
は て な 学	講義名	プログラミングを使って ドローンを飛ばそう！	<p>グループで話し合いながら、プログラミングして、ドローンを飛ばしました。</p> <p>プログラムをしっかりと書いても、なかなか思った通りには飛んでくれません。</p> <p>プログラミング技術だけでなく、みんなで話し合っ、課題を解決する大切さも学びました。</p>
	講師	(株)イーダイレクト 夏目先生	


3. 実施内容

10日目	開催日時	11月26日（日） 10:00-12:30	
	会場	大宮 クラーク記念高校	
は て な 学	講義名	微生物、ウイルスと戦う	<p>病気の原因となる微生物、ウイルスのことを知り、それらと戦うための方法を学習しました。</p> <p>目に見えない小さな世界で何が起きているのかを学び、手洗いやうがい、なぜ大切なのかを学びました。</p>
	講師	シミック・イニジオ株式会社 酒井 宏治（部長） 野澤 美登利（グループ長） 有本 歩（看護師）	

3. 実施内容

1 1 日目	開催日時	12月9日（土） 14:00-15:30	
	会場	芝浦工業大学	
生き方学	講義名	まちと環境を考える SDGsの取り組みを知ろう	<p>まちづくりの観点から、環境問題への取り組みについて、大学の教室で大学の先生から学びました。環境問題へ取り組むために大切なことは、以下の3つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①問いをたてること ②その解を考えること ③それが全ての人に納得してもらうかは、わからないが、あきらめないということ <p>このうち③に感銘を受けた子が多くいました。今後、しっかり自分の考えを持って世の中で活躍できるようになることでしょう。</p>
	講師	増田幸宏 先生 (芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授)	

3. 実施内容

1 2 日目	開催日時	12月16日（土）	
		10:00-16:00（2回開催）	
生き方学	会場	埼玉大学	<p>これまでの子ども大学SAITAMAでの体験を、少しでも今後に生かせるよう、グループで意見を出し合いながら、子ども大学で何を学んだか、自分たちがどう変わったかを取りまとめ、発表してもらいました。</p> <p>参加した子ども達みんなが、自分の意見を自分の言葉で、しっかり声を出して、伝えることができました。</p>
	講義名	修了式 チームで意見を出して 学んだことを発表しよう	
	講師	子ども大学SAITAMA実行委員長 熊谷幸典	

4. 参加者の声

参加した子供の声 (感想)

知らなかったことをたくさん知ることができた。
グループで取り組むときにどうやったらスムーズに内容を決めて進められるかも分かった。

氷川神社に行った時は地域の歴史やゲンジホテルの生態について学びました。ホンダの学校に潜入した時はタイヤの空気圧の事や車のマフラーという機械で音を和らげること、ドローンをプログラミングで飛ばす講座ではグループの人達と一緒に試行錯誤して課題を少しずつ達成し、新たな考え方や新しい発見などがありました。そして一年間の全体の学習を踏まえて自分の考えだけでなく、友達の見解や考えを大切にしてみんなで話し合い、答えが出せるようになりました。将来何の仕事に就職したいかも決めるきっかけになり、そしてその仕事に就職した時に今回の学習した経験や、知識などが活かせる様になりました。

入学式では、知らない氷川神社のことを教えてもらったり、班で楽しくフィールドワークを行えました。また、大宮の魅力ホテルをしれたり、それを保護する取り組みもしれました。

赤ちゃん講座では、自分の昔がどんな感じだったかやおむつ交換の仕方を学びました。この経験を大人になった時活かして活かしていきたいです。

ホンダでは、タイヤ交換と、マフラーの仕組みを知りました。マフラーには布団の中身のようなものが入っていることに、とても驚きました。

J:COMの講座では人生で初めてのTVスタジオに入らせてもらったり、収録しているところを見れました。そして芸人ゴルゴ松本さんと、ハイタッチもできました。

手話では、先生が一つ一つ丁寧に国の表し方を説明してもらえました。

ドローンは、初めて動かすのでどうやればいいのかと緊張しましたがみんなで協力して無事にミッションをクリアできました。また、名前の由来などのことも知れました。

ウイルス講座では、とても楽しいお話を聞かせてもらいウイルスと菌の違いも知れました。

JSDGsで環境への配慮ではなく住みやすい街作りに関係することを知りました。

発表会でこれまでの頑張りをみんなで共有し大変いい機会になったと思いました。

様々な講座を通じて、新しい発見やみんなの考えを聞いて、自分の考えが変わったりしました。

普段学べないような、貴重な体験を他の学校の人たちと、それぞれ違う意見を交換するのはこれからの生活に大切だと思いました。

普通の学校では学べない事が知れました。

特に印象に残っているのは話しているときは、ちゃんと相手の目を見てしっかりと話すことが大事だった。

4. 参加者の声

保護者の声 (感想)

感謝と成長の観察:

保護者は暑い時期のスタートでの支援に感謝しており、子どもたちがグループワークなどで積極的に話せるようになった成長を高く評価しています。

運営への感謝:

規模の大きな運営が大変であったことを理解し、細かな案内と誘導に感謝の意を表しています。

コミュニケーション手段の問題:

LINEでのコミュニケーションが過多になり、重要な情報が見つけにくくなる問題があった。

個人の都合による時間指定や遅刻、休みの連絡が目立ち、個人の利便性が運営の労力を増大させていると感じた。

全体のLINEで個人的な理由を共有する必要性に疑問を持ち、運営に対し強い態度での対処を求める意見があった。

スケジュールと場所の問題:

講座の案内が遅れたり、スケジュールが直前に決まることがあり、保護者の計画を立てにくくしていた。

特に交通機関を利用する際や、施設が遠い場合の待機場所の不足が問題とされている。

具体的な改善提案:

講座の最寄り送迎バスの設置や1泊する講座の導入などの提案があった。

より早い段階での講座の時間帯の通知や、保護者が待機できるスペースの確保を望む声もあった。

感想の要求と体験の価値:

学びに対する興味が増し、人を笑顔にすることの大切さに気づくなど、貴重な体験をしていると感じた。

感想を送る期限に遅れがちであることに対して、催促をしても問題ないとの意見があった。

総合的な評価:

保護者は全般的に子ども大学に対して感謝しており、子どもたちが楽しんで学んでいることを喜んでいました。

運営に対しては、大変な労力を払っていることを理解し、継続的な支援を望む声が多く聞かれました。